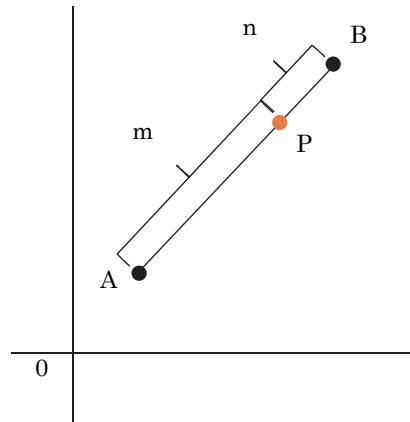


## 第2章

## 土地の問題で出てくる計算

## 1 内分点計算

A点とB点を結ぶ直線上にP点があり、 $AP : PB = m : n$ の場合、「Pは、線分ABをm : nに内分する点である」といいます。



内分点計算は、複素数を使えば簡単に求めることができます。

まずはABそれぞれの座標値をメモリに入れ、以下の計算を行います。

## 解法パターン

- ① BからAを引き、2点間のX座標とY座標の差を求める。
- ② ①を $m+n$ で割る。
- ③ ②の答えにmをかけてAに足す（あるいは②の答えにnをかけてBから引く）。

## 例題

P点は、A点とB点を結ぶ直線上の点であり、A点とB点を結ぶ直線を3:2に内分する点である。

P点の座標値を求めなさい。

点名	X座標(m)	Y座標(m)
A	10.45	20.68
B	37.50	41.88

(解)

A点とB点をそれぞれメモリ「A」「B」に記憶させます。

$$10.45 + 20.68 i \rightarrow A$$

$$37.50 + 41.88 i \rightarrow B$$

P点は、線分ABを3:2に内分する点であることから、A点とB点のX座標値とY座標値の差を5で割り、その値に3をかけた値をA点に足せば求められます(あるいは2をかけた値をB点から引けば求められます)。

B点からA点を引き、差を求めます。

$$B - A = 27.05 + 21.2 i$$

これがA点とB点の、X座標とY座標の差です。

3:2に内分する点であることから、「3+2」の5でこの値を割り、メモリ「M」に記憶させます。

$$Ans \div 5 = 5.41 + 4.24 i \rightarrow M$$

B点からA点の座標値を引いているため、A点から求める場合にはこの値に3をかけたものをA点に足し、B点から求める場合には、この値に2をかけたものをB点から引けば求められます。どちらでも構いません。

A点から引いて求めると以下のようになります。

$$M \times 3 + A = 26.68 + 33.4 i$$

よって、P点の座標値は(26.68, 33.40)となります。

念のため、B点からも求めてみましょう。

$$M \times 2 = 10.82 + 8.48 i$$

$$B - Ans = 26.68 + 33.4 i$$

同じ値となりました。

内分点計算は、このように他方からも確認しておくと確実です。

(以降では確認の手順は省略しますが、実際の計算の際はぜひやっておきましょう。)